

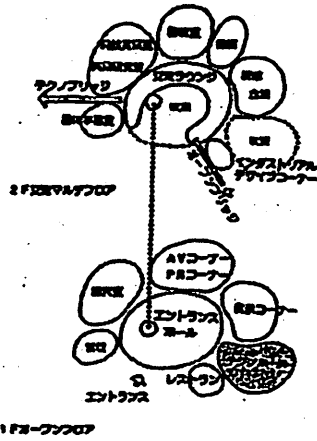
表現の許容範囲について

「プロポーザルで許される表現の例」及び「プロポーザルで失格となる表現の例」を別紙に表示します。

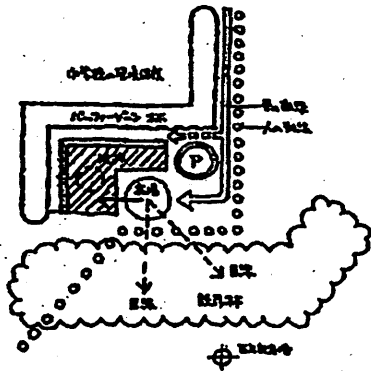
プロポーザルで許される表現の例

①許される表現例及びその理由

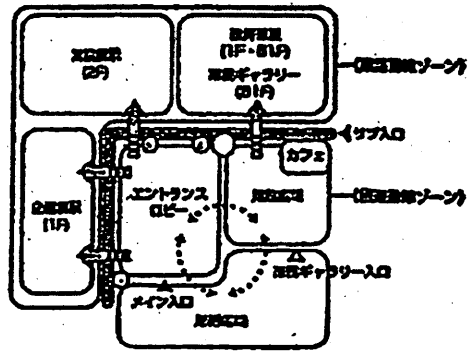
① 許される表現例及びその理由



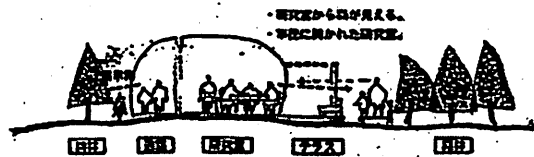
ホール、ラウンジを中心にするという設計の考え方を表現しているものである。



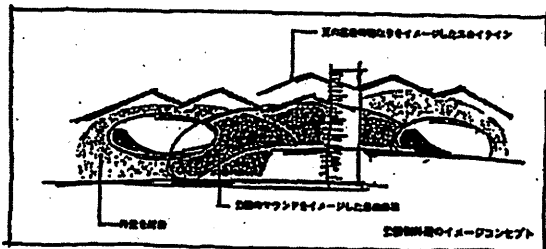
人の動線を説明するときに、それを補うために建物内の簡単なゾーニングの考え方を表現している。



人の動線を説明するときに、それを補うために建物内の簡単なゾーニングの考え方を表現している。



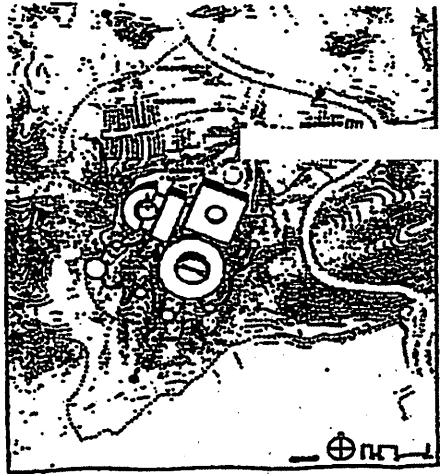
施設と周辺環境との関係をイメージで表現しているものであり、建物の具体的な形状は表現していない。



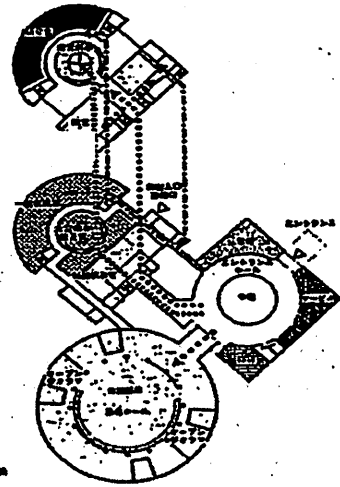
建物のイメージを表現しているものであり、建物の具体的な形状は表現していない。

プロポーザルで失格となる表現の例

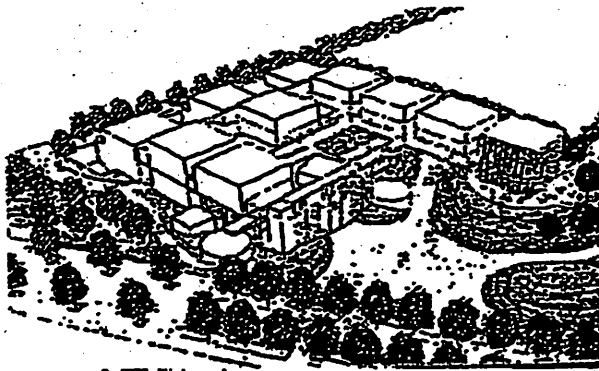
②許されない表現例及びその理由



建物形状が具体的に表現された、周辺地域も含めた配置図である。



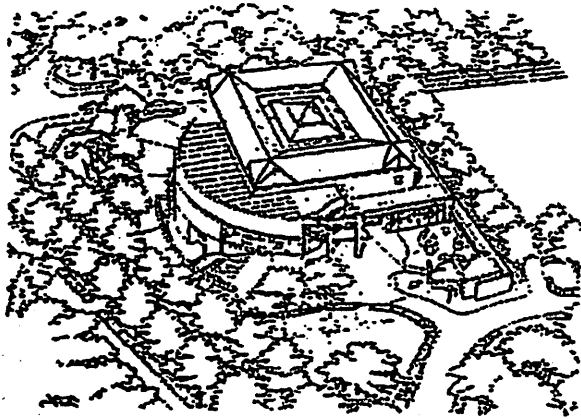
具体的な平面図である。



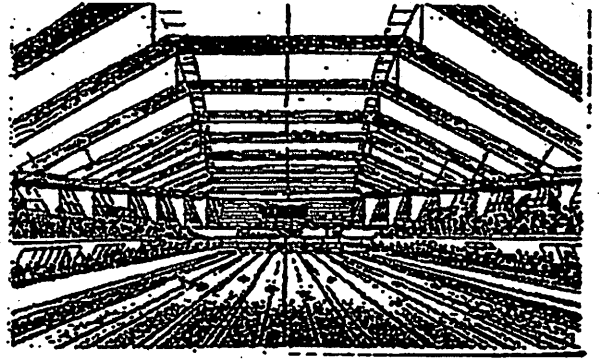
建物の具体的な配置計画やボリューム等が具体的に表現された鳥瞰図である。



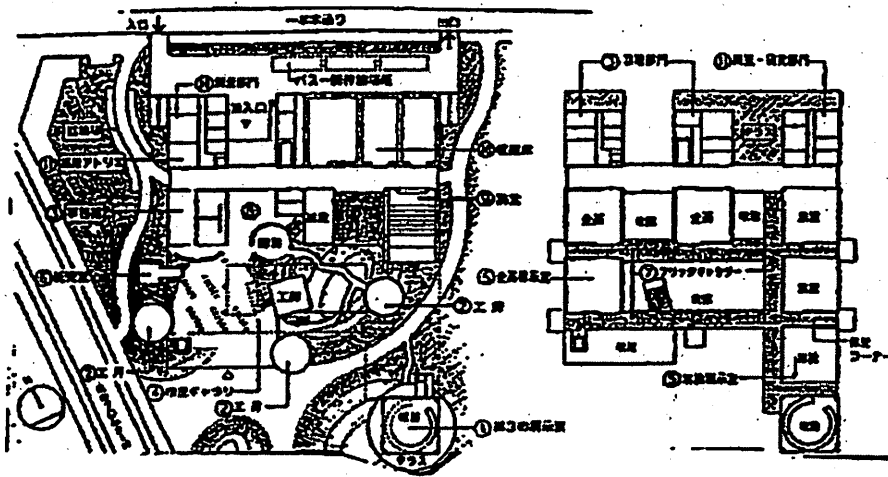
建物の具体的な形状が表現された透視図である。



外観の形状が具体的に表現された鳥瞰図である。



内観の透視図である。



一定の尺度のもとで作成された具体的な配置図、平面図である。

※建物のイメージを表現するために既存の建築物等の写真、イラスト等を使用することは認めるが、この場合引用した建築物等の名称を具体的に記入すること。